



第 62 号

令和 6 年 8 月

会長 岡本 諒

第 2 回役員・班長会議

7 月 28 日（日）標記会議が北野連合会館にて開催されました。

会長挨拶の後、主に 8 月から 11 月までの行事について以下の通り、実施内容の確認と協議が行われました。

1. 夏休みラジオ体操 7 月 26 日（金）～8 月 6 日（火）最終日には努力賞など
2. 子供七夕祭り 8 月 7 日（水）16 時より 短冊飾り付け、ローソク出せ、花火
3. 4 町内会合同盆踊り 8 月 13 日（火）15 時～19 時 DCM 北野通店屋上駐車場、今年の当番は上北野町内会、来年は北野中央自治会、雨天中止
4. パークゴルフ大会 9 月 15 日（日）詳細は後日回覧
5. 敬老お祝い品の贈呈 9 月 16 日（月）後日回覧しますが、該当する方は遠慮なく報告してください。
6. 交通安全街頭啓発 9 月 27 日（金）まちづくりセンター前、北野小学校児童参加
7. 北野通り花壇整備 9 月 28 日（土）
8. ぶどう狩り 10 月 12 日（土）詳細は後日回覧
9. 避難所運営ゲーム（HUG）講習会 10 月 19 日（土）
避難所での女性の役割が大きいことから、多くの女性の参加を期待している。
10. 秋の町内一斉清掃及び北野通り花壇整備 10 月 26 日（土）
11. 交通安全街頭啓発 11 月 13 日（水）清田区役所前

10 月 12 日（土）の資源回収はぶどう狩りと重なったため、前日の 10 月 11 日（金）に変更されました。

上地和男さんに札幌市社会福祉協議会より表彰状

当自治会の副会長（財務経理部長）の上地和男さんが、7 月 9 日カナモトホールにて開催された第 47 回札幌市社会福祉大会において、福祉ボランティアの分野（個人）で多年にわたる功績に対し、札幌市社会福祉協議会会長より表彰されました。

具体的には、10 年を超える福祉除雪をはじめ、庭の草取りや大型ごみの運び出しなど高齢者の様々な困りごとに積極的に手を差し伸べるなどのボランティア活動で、地域にこのような心の行き届いた行動をしてくれる人の存在は、とても頼もしく有難いことです。

野外懇親会を満喫

炎天下に 200 余名の宴

6月29日（土）自治会最大のイベントである野外懇親会が行われました。

この日は今年初の真夏日となる炎天下で熱中症の心配もある状況でしたが、そのような事故もなく、年に一度の宴を楽しみました。

当日、会員有志 20 名余は、8時30分第二公園に集合、会場の設営（テーブル・椅子の設置、テントの敷設、焼き鳥など準備）に当たりました。

コカ・コーラボトリングなどから借用したテーブル 30 卓、椅子 100 脚をはじめ公園のベンチ 5 か所も活用し、参加者の席を整えました。

11時15分、会長挨拶があり、懇親会が始められました。

また、北野まちづくりセンター所長、近隣の町内会長も来賓として参加、開始1時間後の12時15分にはピークとなる160名となり、最終的な参加者の総数としては200名を超える賑わいとなりました。

今回の特徴として、子供たちの参加が多かった事があげられます。そのためジュースなどの清涼飲料水が少し物足りなかった様子。一方、生ビールは暑い気温にも拘わらず19ℓ入り3樽、10ℓ入り1樽に止まりました。



飲み物 左：生ビールと 右：清涼飲料



熱い炭火のコンロの前での調理は、大変でした

左：ジンギスカン（1.2 kg）と焼きそば 右：焼き鳥（鳥串、豚バラ串各 400 本）

14時、用意された食べ物、飲み物はすべて消費され、名残惜しみつつ終了となりました。



直ちに後片付けの作業に入り、参加した会員が自主的に行ってくれたこともあり借用品の返却など15時30分には全て完了することが出来ました。

また、会の運営に当たっては、会場芝生の草刈（せせらぎ会）、食品の調達や野菜の下ごしらえ、コンロの整備、設営資材の運搬、ゴミの始末など見えないところでの多くの会員の献身的な尽力があり、参加者のたくさんの笑顔は、それらが結集した結果だと感じました。

第32回 北野ふれあい夏祭り

7月20日（土）、この日は、正に夏祭りにふさわしい30℃を超える好天となりました。10時夏祭り開始を告げる花火を合図に出店がオープン。13時北野饗楽太鼓の力強い幕開けでオープンセレモニーが開始。岡本諒北野町内会連合会会長の挨拶の後、来賓の紹介があり、来賓を代表して清田区長より挨拶を頂き祭りのプログラムがスタートしました。

10項目のプログラムに清田地区内の様々なエンターテイナーが参加し祭りを盛り上げてくれました。

最後は、すっかり地域に定着した花火大会、今年も600発の花火が夜空を彩りました。

なお、当自治会からは、来賓接待に女性部、自転車置き場の整理、指導に防犯部と防災部、場内ゴミ箱の管理と分別指導に環境衛生部が協力しました。



自治会研修旅行

北海道警察本部
白石清掃工場

を見学

7月9日（火）、女性部研修旅行は今年度から自治会研修旅行と改称して行われ、24名が参加、このうち男性が5名参加しました。

9時50分サンプラザのマイクロバスで出発、はじめに北海道警察本部（中央区北2条西7丁目）を見学しました。

普段は少し敷居が高い印象の警察署ですが、迎えてくれたのは、若い女性の広報担当官、自然に気持ちが和みました。

まず、1階で警察本部の組織と職務内容や服装装備の変遷などの説明を受けた後、6階に移り、通信指令室と交通管制センターを窓越しに見学。通信指令室では110番の通報を受け、直ちに警察官の派遣指令する部門で、一日平均770件ほどの通報が入るとのこと、見学中にも刻々と通報が入ってくる様子がわかりました。また、正面の大画面に「北野中央自治会の皆さん ようこそ通信指令室へ ゆっくり見学して下さい。」の文字を見たときに、驚くとともに警察のソフトな市民対応が印象に残りました。

交通管制センターでは、信号機の制御、管理、渋滞情報、車両通行台数、到達予測時間などを担当していました。

また、白バイに跨り赤ランプを点滅させる体験もできました。

サンプラザで昼食後、白石清掃工場（白石区東米里）へ。ここは可燃性廃棄物を処理する施設で市内最大の焼却能力900t/日（300t×3炉）の処理能力を有し、発電量最大30,000KW（一般家庭72,000戸分、売電収入年間17億7,000万円）の発電所でもあります。

まず、会議室にて札幌市の廃棄物の現状や分別区分、清掃工場での処理工程などの説明を受けた後、中央制御室や炉室を見学、また、明治から現代までのごみ処理やし尿処理の変遷をパネルや展示物で学びました。

最後にごみを受け入れる深さ30メートルの巨大なピット（貯蔵槽）と一度にパッカー車2台分のごみを吊り上げのごみクレーンの迫力に圧倒されました。何れも、私たちの快適な生活と安全、安心のため24時間体制で取り組んでいる組織の存在に



北海道警察本部六階展示室にて